

2011年度

入学試験問題

社 会

40分

1. 受験番号・氏名を解答用紙に書くこと。
2. 受験番号は算用数字で書くこと。(例:123)
3. 答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 配布されたもの以外の下じき・用紙は使わないこと。
5. 用紙を立てて見ないこと。
6. 質問(印刷不明のところだけ)のある場合、鉛筆などを落とした場合、トイレに行きたくなった場合、気持ちのわるくなった場合は、だまって手をあげること。

1853年に、アメリカのペリーが軍艦^{ぐんかん}を率いて来航し、開国を要求しました。5年後の1858年には、幕府はアメリカと条約を結んで貿易を認めました。200年以上続いた幕府の鎖国政策^{さこく}が終わり、日本は開国しました。

日本が開国したとき、横浜は開港地の1つに選ばれ、その後大きく発展していきました。ここでは港に注目して、横浜の移り変わりを考えることにします。

I. 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

①横浜市は、現在人口370万人の大都市ですが、江戸時代の横浜は小さな漁村でした。

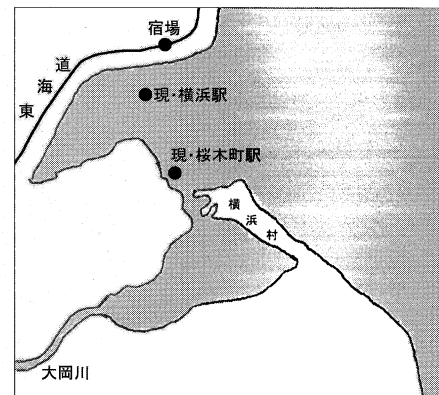
右の図は、江戸時代はじめの横浜村の様子です。横浜村は細長い半島のようなところにあり、②近くを通る東海道沿いの宿場町^{しゆくばうまち}に比べると、小さな集落でした。

③江戸時代には、日本各地で新田開発がさかんに行われました。江戸時代の前半

には「吉田新田^{よしだしんでん}」が、後半には「横浜新田^{よこはましんでん}」や「太田屋新田^{おおたやしんでん}」などがつくられて、図の入江は大部分が陸地になりました。これらの「新田」は現在、横浜港周辺の市街地になっています。

横浜村には、港らしい設備はほとんどありませんでした。1859年に開港することが決まると、幕府は船をつける波止場^{はとば}を2カ所つくりました。

しかし、開港した後もしばらくの間は、横浜港の波止場には大きな船をじかにつけることができませんでした。そのため④外国船は荷物を積んだまま、沖にとどまって待っていなければなりませんでした。



(宮野力哉『絵とき横浜ものがたり』をもとに作成)

⑤開国後、外国から商人が横浜にやってきて住み着きました。日本の商人も、外国人との取引きをするために横浜に集まってきました。⑥商人やその他の人々が住むようになって、横浜の人口は増えていきました。

⑦外国との貿易では、自由に関税をかけることができませんでした。また⑧日本からの輸出品の中には、輸出が増えたために国内で品不足になったものもありました。

1868年の明治維新^{めいじいしん}以後も、外国との貿易は続きました。横浜港での貿易は拡大して、開港当時の波止場だけでは不便になりました。大正時代になって海を埋め立てて新しいふ頭^{ふかど}をつくり、大きな船が横付けできるようになりました。⑨ふ頭には倉庫がおかれ、たくさんの荷物が扱^{あつか}われるようになりました。

横浜港のまわりは、貿易の拡大とともに人口が増えました。1889年に横浜市が発足^{はつそく}したとき、人口は12万人でした。⑩1920年の調査では横浜市の人口は42万人となり、100戸の集落だった横浜村のころとは、大きく変わりました。

問1 現在、下線部①に隣^{とな}り合う市のうち、A～Cにあたるものをア～キから選びなさい。

- A 幕府が置かれた。
- B ペリーが最初に来航して国書を提出した。
- C 横浜市の北にあって臨海工業地域をもつ。

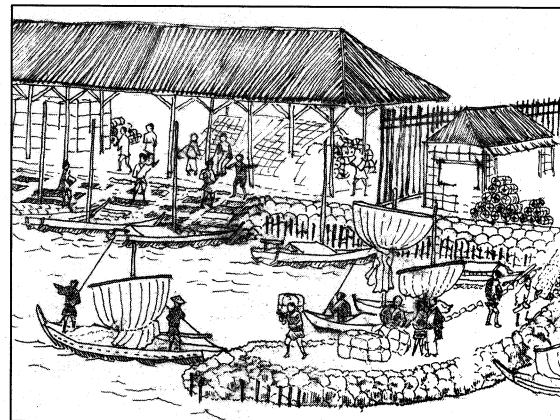
ア 小田原市 ^{おだわら}	イ 鎌倉市	ウ 川崎市	エ 相模原市 ^{さがみはら}
オ 下田市	カ 千葉市	キ 横須賀市 ^{よこすか}	

問2 下線部②は、条約では開港予定地の1つでした。何というところですか。

問3 下線部③の例として、正しいものをア～ウから1つ選びなさい。

- ア 高い山を平らにして耕地にした。
- イ 川の下流の干潟^{ひがた}を耕地にした。
- ウ 大きな湾^{わん}を埋め立てて耕地にした。

問4 下線部④のことが理由で、明治はじめの波止場では右の図のような小さな船が使われました。この船はどのような仕事をするためのものでしたか。



よこはまかいがんどおりのず
(「横浜海岸通之図」横浜開港資料館蔵をもとに作成)

問5 下線部⑤のことから、横浜には西洋の文化がはいました。開国以後に、はじめて横浜にも見られるようになったものは何ですか。ア～オから2つ選びなさい。

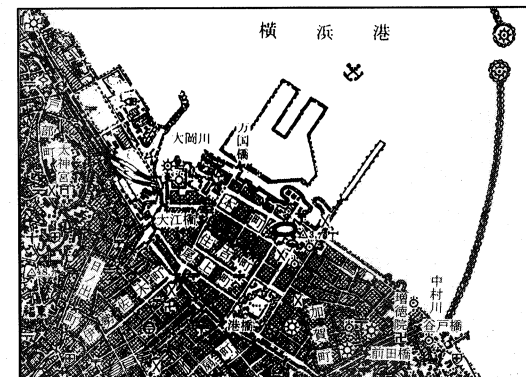
- ア かご
- イ 紙
- ウ 神社
- エ 電信
- オ 乗合馬車^{のりあい}

問6 下線部⑥のようになってくると、生活の維持や伝染病^{いじでんせんびょう}の予防に欠かせない施設がつけられました。それは何ですか。

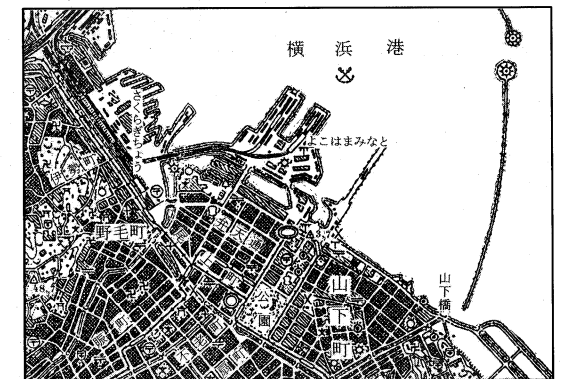
問7 下線部⑦のように、自由に関税をかけることができないと不利なことがあります。どのようなことですか。

問8 下線部⑧の品物のうち、その後も日本のもっとも重要な輸出品だったものは何ですか。

問9 下線部⑨のように、たくさんの荷物を扱うため、倉庫^{ほか}の他につくられたものは何ですか。次の2つの地図を見比べて答えなさい。



5万分の1地形図「横浜」
1912年発行を一部修正



5万分の1地形図「横浜」
1927年発行を一部修正

問10 下線部⑩は、その後5年ごとに行われる全国的な人口調査の第1回目でした。何という調査ですか。

Ⅱ. 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

横浜港は1923年の⑪^{かんとうだいしんさい}関東大震災^{ひがい}によって被害を受けましたが、ほどなく復興しました。⑫近くの沿岸部は、埋め立てられて工業地帯として発展していきました。

日本の工業生産額は、1920年頃に農業生産額を追い越しました。1940年には⑬重化学工業の生産額が工業生産額の50%を越えていました。横浜港のある神奈川県は、1940年に全国で東京・大阪に次いで3位の工業生産額をあげていました。

その後戦争による落ち込みがありましたが、戦後の経済成長の時代に大きく伸び、現在、神奈川県は⑭都道府県別に見ると全国2位の工業生産額をあげています。横浜港での貿易を見ると横浜港の⑮輸出額では工業製品の比率が大きくなっています。⑯貿易相手国では2つの国が目立ちます。

問11 下線部⑪による横浜の被害は、地震がひきおこした災害によって大きくなりました。その災害は何ですか。

問12 下線部⑫のように、横浜の沿岸部が埋め立てられて工業地帯となるのは、有利な条件があるからです。その条件とはどのようなことですか。

問13 下線部⑬について答えなさい。

表1は、重化学工業の発展と貿易とのつながりを見るために、横浜港の輸入品の移り変わりを調べたものです。Aは何ですか。

表1 横浜港の輸入品の移り変わり (輸入額にしめる割合%)

年	1位	2位	3位
1940	鉄 11.1	A 8.7	銅 8.6
1960	薬品類 9.5	A 7.0	採油用子実 6.9
1980	A 17.1	非鉄金属(銅など) 13.3	ガス類 4.1
2000	非鉄金属(銅など) 9.1	A 7.8	衣類 7.6
2007	非鉄金属(銅など) 13.0	A 7.0	ガス類 5.5

(横浜税関の資料より)

問14 下線部⑭について、全国1位はどこですか。

問15 下線部⑮について答えなさい。

表2は、横浜港の輸出品の移り変わりを調べたものです。Bは何ですか。

表2 横浜港の輸出品の移り変わり (輸出額にしめる割合%)

年	1位	2位	3位
1970	B 12.3	ラジオ受信機 6.2	鉄鋼 5.4
1980	B 23.2	科学光学機器 4.2	テープレコーダ 3.0
1990	B 14.6	事務用機器 7.3	映像機器 5.5
2000	B 12.8	事務用機器 6.5	科学光学機器 5.6
2007	B 21.5	Bの部品 6.5	建設用・鉱山用機械 5.1

(横浜税関の資料より)

問 16 下線部⑯について答えなさい。

表 3 は、2007 年の横浜港における輸出入貨物の取り扱い量を、国別に調べたものです。表 4 は、同じ年の横浜港における輸出入額を国別に調べたものです。

表 3 と表 4 の C，D にあてはまる国を答えなさい。

表 3 横浜港における輸出入貨物量の国別の割合（重量％）

	1 位	2 位	3 位
輸 出 貨 物	C 21.9	D 10.4	オーストラリア 5.0
輸 入 貨 物	C 21.2	D 15.2	サウジアラビア 9.7

（『横浜港統計年報』による）

表 4 横浜港における輸出入額の国別の割合（金額％）

	1 位	2 位	3 位
輸 出 額	C 15.9	D 15.7	台 湾 5.7
輸 入 額	C 28.3	D 10.6	サウジアラビア 5.7

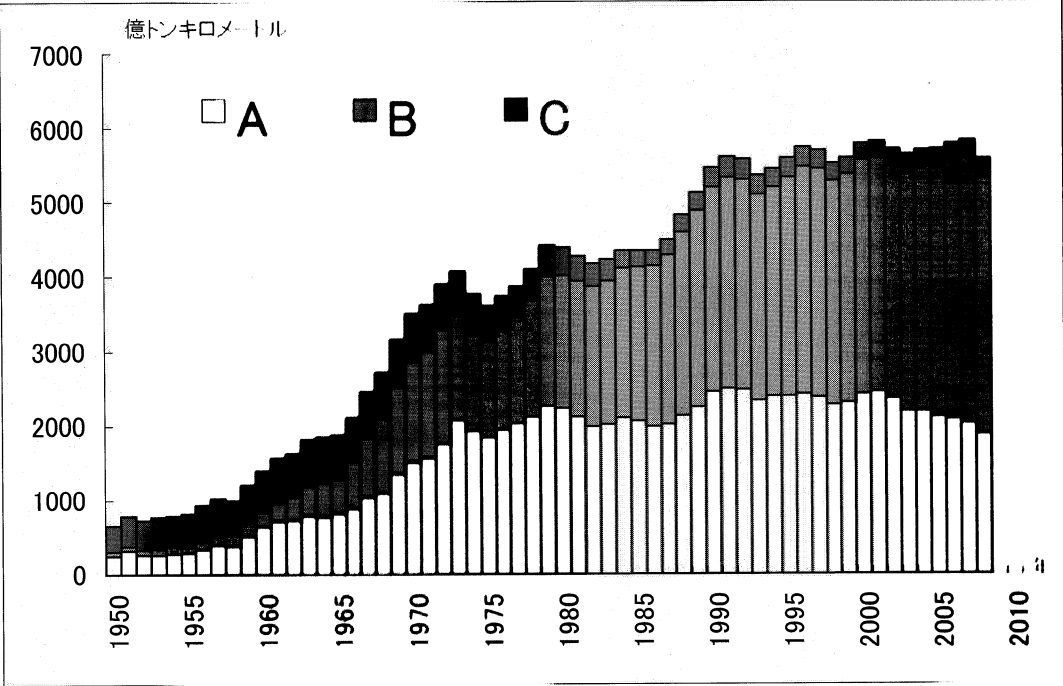
（横浜税関の資料より）

Ⅲ. 次の問に答えなさい。

問 17 下のグラフは、1950 年以後の日本国内の貨物輸送の変化を調べてつくったものです。グラフの A ～ C にあたるものを、ア～エから選びなさい。

ア 航空機 イ 自動車 ウ 鉄道 エ 船

日本国内の貨物輸送の変化



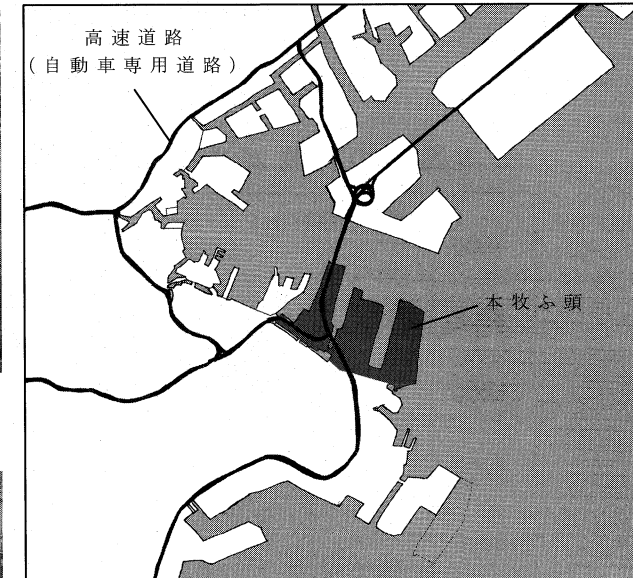
（『数字でみる日本の 100 年』第 5 版、『運輸省三十年史資料編』，国土交通省の資料による）

問 18 横浜港では、現在コンテナ船による貨物の取り扱い量がたいへん多くなっています。写真①②はコンテナの取り扱いがもっとも多い本牧ふ頭の様子をとったものです。写真と地図を見ながら、コンテナを利用する利点を3つ答えなさい。

①



②



ふとう
(横浜埠頭公社の資料をもとに作成)

問 19 横浜港で、波止場ができた時代から現在まで、港の使われ方がどのように変わってきたかを、これまでの文章や問を参考にし
てまとめなさい。

I

問1	A	B	C
----	---	---	---

問2		問3		※
----	--	----	--	---

問4	
----	--

問5			※
----	--	--	---

問6	
----	--

問7		※
----	--	---

問8	
----	--

問9	
----	--

問10	
-----	--

II

問11		※
-----	--	---

問12		※
-----	--	---

問13		問14	
-----	--	-----	--

問15	
-----	--

問16	C	D
-----	---	---

III

問17	A	B	C	※
-----	---	---	---	---

問18	(1)	※
	(2)	
	(3)	

問19		※

受験番号	番	氏名	
------	---	----	--

評点	※
----	---